



同窓会会員の皆様へ



同窓会会長
高橋 知恵美

本会報をご覧いただき、同窓会活動にご関心をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。皆様それぞれが医療の最前線や地域での看護活動を通じて日々尽力されていること、また医療従事者として大きな責任を担い続けていることに、改めて敬意を表します。

さて、この数年、私たち看護職にとっても新型コロナウイルスによる影響は多大であり、医療現場での感染症対策や患者支援の必要性が高まっています。また、患者さんのケアだけでなく、自身のメンタルヘルスの重要性についても、多くの人が考えるようになりました。日々、緊張感の高い現場で働き続ける中で、心身の負担を抱え込んでしまうことは誰にでもあり得ることです。そのため、自分自身のケア、そして「自分をいたわる時間」を確保することも、大切な課題だと感じています。そこで、今年度の同窓会研修会として、

少し趣向を変えた企画をご用意いたしました。その名も『日常に小さな褒美を。ハンドドリップで味わう至福のコーヒー講座』です。この講座では、普段忙しく働く皆様が自宅で手軽に「ほっとできる」時間を持てるよう、美味しいコーヒーの淹れ方を学んでいただける内容となっております。コーヒーは香りや味わいが五感を刺激し、心を和ませてくれる存在です。この機会にハンドドリップの技術を習得し、日常に自分自身への小さな褒美を取り入れてみませんか。

私たち看護職は、誰かのために力を尽くす仕事であるがゆえに、自分自身を労わることを後回しにしがちです。しかし、自分の心と体の健康が保たれてこそ、真の意味で患者さんや周囲の人々へ貢献できるのではないのでしょうか。これからも同窓会では、看護の専門性を深める学びの場だけでなく、皆様が健康で幸せに働き続けられるような交流や支援の機会を提供してまいります。

どうぞ、これからも同窓会活動にご参加いただき、皆様が繋がりを感じられる場としてご利用いただければ幸いです。引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げて、会長挨拶とさせていただきます。

看護学科の近況

看護学科長 多久島 寛孝

同窓生のみならず、いかがお過ごしでしょうか。お変わりはありませんでしょうか。

看護学科の近況についてお伝えいたします。昨年の3月に国の方針として、マスクの着用は個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。そして、昨年の5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、5類感染症になりました。それを受けて、本学においてもマスク着用は任意となり、特に今年度に入り教職員、学生ともにマスク着用者が減少し、徐々にコロナ禍以前の学内の様子に戻りつつあります。看護学科では、4月から11月まで3年次の臨地実習の期間であったため、教員および実習中の学生については、原則として実習期間内は臨地、学内ともにマスク着用としていました。しかし、この11月で3年次の臨地実習が終了し、ひと段落ついたことから、11月以降については、看護学科においてもマスク着用は任意とすることにいたしました。臨地実習はもちろん、今後も状況に応じて対応していくことに変わりはありません。

授業におきましては、新型コロナウイルス感染症は大きな変化をもたらしました。今年度の講義科目は、コロナ禍以前と同様にほぼ対面での実施となりましたが、昨年までに培われたオンライン(同時双方向型あるいはオンデマンド型)を用いた授業形態は、活用の幅が広がっています。たとえば、私どもが関わっております高等学校の総

合学習へのアドバイスにおいても、必ずしも互いを訪問をすることなく、事前の電子メールを用いた準備に始まり、直接的には同時双方向型のオンラインでの対面で助言を行うなど活用の幅も広がっています。また、実習施設など外部との打ち合わせや会議、学術集会、研修会などは、オンラインを用いての同時双方向型が多くなっています。特に会議や研修会については、場所の確保や移動時間に拘束されないことがないため、今後も広く活用されるかと思っています。

令和6年度の学事は、4月の入学式に始まり、おかげさまで現在まで滞りなく予定どおりに進んでいます。一つひとつの学事を無事に終えることは、ある意味当然のことではありますが、コロナ禍を経た現在では、一つひとつ無事に終えることは幸せであるとも感じています。

そして、公衆衛生看護学専攻科の設置が正式に認可を受けました。令和7年4月から新たな保健師養成が開始となります。看護師養成につきましては、指定規則改定により令和4年度入学生からは新カリキュラムを開始していますが、文部科学省による看護学教育モデル・コア・カリキュラムの改定も予定されており、令和8年度からの適用に向けて看護学科のカリキュラムの見直しの検討に入ることになります。

私ども教職員一同、これからも、本学の教育の充実のために尽力して参りますので、引き続きご支援をお願いいたします。最後になりましたが、同窓生のみならず、皆様のご健康と益々のご発展をお祈りしています。

これから冬本番を迎えます。くれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。

令和6年度 看護研修会

日常に小さなお褒美を。
ハンドドリップで味わう
至福のコーヒー講座

卒業生と同伴者1名が参加可能。
コーヒーのプロから学べます。
ぜひご参加ください。



日 付 令和7年2月8日(土)
時 間 受付13:30
14:00スタート
講 師 小山 拓真 (Coffeedot)

研修内容

- ・スペシャルティコーヒーについて
- ・コーヒーショップの楽しみ方
- ・ドリップコーヒーの淹れ方

参 加 費 無料

会 場 大学内のキャンパステラス
託児あり

実際に美味しいコーヒーを淹れて飲みましょう。カヌレのお土産付きです♪



申込期限 1月15日(水)
定員50名

応募多数の場合は抽選となります。
※当選のご案内は1月中旬ごろに
メールにてお送りいたします。

Coffeedotの
Instagramはこちら



参加申し込みは
こちら





10月19日(土)、大学の学園祭に同窓会役員で参加してきました。途中、急な豪雨でずぶ濡れになりましたが、それも楽しい思い出♪120食完売できました～！

令和5年度 看護研修会報告



研修会では、嗅覚反応分析士の古閑ゆみ先生の講義を受け、参加者一人ひとり「嗅覚反応分析」を体験しました。

8種類の香りを嗅ぎ、好みの順番に並べてその結果をグラフ化し、分析してもらいました。その時の自分に合っているアロマや必要な食事、運動、健康法なども分かり、体質や病気のリスク、性格傾向まで知ることができるそうです。

今の心と体の状態が分かり、納得したり、思いがけない結果に驚いたり、会場は大盛り上がりでした。自分に合ったアロマを作っていただき、アロママッサージを実践したり…内容も盛りだくさんで、参加された方も笑顔で受講いただきました。

久しぶりの再会で会話もはずみ、癒しの時間になりましたね♪
参加いただいた皆さま、次回もまたお会いできるのを楽しみにしています。

参加人数は、44名。託児のご利用では、12名のお子様たちが保育士とともに楽しく遊んで過ごしていました。



熊本保健科学大学保健科学部看護学科

同窓会開催に伴う支援金支給のご案内

私たち同窓会では、各回生・期生の同窓会開催にあたり、下記のように支援金を支給することとなりました。支援金が必要な方は、事前に看護学科同窓会までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

この支援金が、皆様にとって有意義な同窓会の参加につながることを心より願っております。今後とも同窓会活動にご協力いただけますよう宜しくお願い致します。

支援金の目的：同窓会活動の促進

支援金の額：1回の申請につき20,000円

※支給条件として、同窓会誌への文書・写真の掲載が必要です

支援金の受け取り方法：以下の流れでご受領いただけます

①QRコードまたはURLから申請

<https://forms.gle/67CbeGxWyVKsxLoXA>

②同窓会事務局から申請者へのメール受信

③申請者から同窓会事務局への振込先情報の提供



【問い合わせ先】 〒861-4214 熊本県熊本市南区城南町舞原無番地
医療法人 城南ヘルスケアグループくまもと南部広域病院
TEL 0964-28-2556 中野博之（看護学科同窓会顧問）

活動報告

熊本保健科学大学7期生同窓会を9月14日（土）に熊本市内にて開催しました。昨年9月の卒後10周年記念同窓会以来の開催で、今回は新設された支援金制度を利用させていただきました。同窓会では昔話に花を咲かせ、また各方面で活躍する同期生から刺激を受けるいい機会になりました。

今後は県外在住者も参加できるような日程を組むなどし、より多くの同期生で集まりたいと考えています。以上、ご報告とさせていただきます。



幹事 井上 丈滉



『令和6年度常任委員総会報告』

令和5年度事業報告

令和5年度に実施した事業について報告する

【令和5年度】

Ⅰ. 運営に関する事項

1. 常任委員総会 令和5年5月20日(土)開催
2. 役員会 7回開催 詳細は右記報告通り
3. 同窓会PR 作成したPR動画を学園祭で放映
学園祭出店時に看護学生アルバイト募集 4名参加

Ⅱ. 教育に関する事項

1. 令和5年度看護研修会
令和6年2月3日(土)開催
「癒しの香りでリセット～香りから知る心と身体・
パーソナルオイルづくり～」
古閑ゆみ先生(AHIS認定 嗅覚反応分析士トレーナー)
参加人数38名+役員6名(託児12名)
2. 会員の教育研修参加 0件
3. 支部活動 0件

Ⅲ. 調査研究に関する事項

1. 会員数の把握
会員の住所録調査とデータ管理を専門業者へ委託
2. 会員の活動状況把握 大学からの依頼なし

Ⅳ. 福祉に関する事項

1. 式典参列 0件
2. 大学行事への関わり
学園祭(10月21日)にて模擬店を出店
国家試験激励記念品贈呈(2月11日)
同窓会説明(2月14日)
3. 災害に関する支援 0件

Ⅴ. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ひいらぎ』第32号の発行(大学ホームページ内に掲載)

令和5年度役員会報告

【令和5年度】

	日 程	場 所	参加人数	議題・報告事項
1	5/7(日)	熊本保健科学大学	7名	・年間行事の方向性と担当分担 ・役員改選について
2	5/20(土)	熊本保健科学大学	6名	・総会打ち合わせ ・役員改選について ・看護研修会について ・会報誌『ひいらぎ』発行について ・学園祭について
3	7/8(土)	熊本保健科学大学	5名	・年間スケジュールの担当決め ・看護研修会について ・学園祭について ・会報誌『ひいらぎ』について
4	10/21(土)	熊本保健科学大学	9名	・学園祭出店の振り返り ・看護研修会について ・会報誌『ひいらぎ』発行について ・会計監査について ・大学内保管の同窓会物品について ・同窓会ユニフォーム新調について
5	11/25(土)	熊本保健科学大学	4名	・同窓会物品整理 ・会報誌『ひいらぎ』発行について ・看護研修会について
6	1/20(土)	森都心プラザ	3名	・看護研修会打ち合わせ ・国試激励品について
7	2/3(土)	熊本保健科学大学	6名	・看護研修会の振り返り ・国試激励品について ・新常任委員選出について ・総会について ・『ひいらぎ』大学ホームページ掲載について

役員会開催回数; 7回

令和6年度事業計画

Ⅰ. 運営に関する事項

1. 常任委員総会 年1回開催
2. 役員会 年3回以上開催
3. 同窓会PR 作成したPR動画を学園祭で放映、
チラシ(QRコード)を渡す

Ⅱ. 会員の交流に関する事項

1. 研修会 年1回開催
2. 会員の自己研鑽活動支援
参加者は内容を報告、同窓会誌に掲載する
3. 県外在住会員の親睦会開催支援
開催時は、内容を同窓会誌で報告

Ⅲ. 会員の把握に関する事項

1. 会員数の把握
2. 会員の活動状況把握
大学から、管理者になっている人数把握の依頼あり

Ⅳ. 行事等に関する事項

1. 式典(入学式・卒業式)参列ならびに祝電送付
2. その他の大学行事(球技大会・学園祭・国家試験激励 他)
に参加ならびに記念品授与
3. 災害に関する支援 学園祭模擬店売上金を寄付

Ⅴ. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ひいらぎ』第33号の発行
WEB掲載とし、発刊時にハガキで掲載を案内(QRコード)する

令和5年度収支決算書

自.令和5年4月1日 至.令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	決算金額
前年度繰越金	2,726,400
会費	1,270,000
補助金・助成金	0
受取利息	28
当期収入合計	(1,270,028)
収入合計	3,996,428

支出の部

(単位:円)

科 目	決算金額
会議費	(158,006)
常任委員総会費	69,790
役員会費	88,216
事業費	(674,770)
会員の交流費	689
会員の把握費	2,500
行事費	149,434
委託費	522,147
事務費	(0)
消耗品	0
印刷費	0
郵送・通信費	0
予備費	(0)
当期支出合計	(832,776)
次年度繰越金	3,163,652
支出合計	3,996,428

監 査 報 告

熊本保健科学大学保健科学部看護学科
同窓会会長 高橋 知恵美 殿

熊本保健科学大学保健科学部看護学科同窓会会則第7章の規定により、令和6年4月29日(月)午後1時に熊本保健科学大学ゼミ室において、令和5年度決算について監査を実施しましたところ、一般会計、帳簿類など整備良好で会務とも適切な執行が行われていることを認めます。

令和6年5月18日

監 事

山下 博紀
高橋 隆雄

熊本保健科学大学 保健科学部看護学科 同窓会会則

第1章 総則

- 第1条 本会は、熊本保健科学大学保健科学部看護学科同窓会とする。
- 第2条 本会は、本部を熊本保健科学大学内に置き、事務局を設置する。

第2章 目的

- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校の発展に貢献し、社会文化の進展に寄与することを目的とする。

第3章 事業

- 第4条 本会は、第3条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 会員の質の向上のための研究活動、看護研修会の開催
 - (2) 常任委員総会の開催
 - (3) 同窓会誌および会員名簿の発行
 - (4) 会員の親睦会の開催
 - (5) 支部会の設置
 - (6) その他、本会の目的達成のための事業

第4章 会員

- 第5条 本会は、次の会員をもって組織する。
- (1) 正会員 銀杏学園短期大学看護科および熊本保健科学大学保健科学部看護学科を卒業したもの
 - (2) 準会員 熊本保健科学大学保健科学部看護学科の在学学生
 - (3) 特別会員 銀杏学園短期大学看護科の旧教員ならびに熊本保健科学大学保健科学部看護学科の現教員

第5章 役員および任務

- 第6条 本会は、次の役員を置く。
- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 2名
 - (3) 書記 2名
 - (4) 会計 2名
 - (5) 会計監査 2名
 - (6) 顧問 若干名
 - (7) 常任委員 各年度の代表を2名以上
 - (8) 事務局 1名以上
- 役員は、(1)～(5)までとする。
- 第7条 役員および顧問、常任委員は、次の方法により選出する。
- (1) 会長、副会長、書記、会計、会計監査は、会員の中から選出し、常任委員総会の承認を得て決定する。
 - (2) 常任委員は、各年度の卒業生から2名以上を選出する。また、各年度の常任委員が継続困難若しくは、常任委員との連絡が途絶え、常任委員としての職務が遂行できない場合には、役員会で協議の上、常任委員より除くこととする。

- (3) 顧問は、役員の推薦により会長が委嘱する。
- 第8条 役員および常任委員、顧問の職務は、次の通りとする。
- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
 - (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のある時は、会務を代行する。
 - (3) 書記は、会務の記録および諸連絡等の庶務一般を行う。
 - (4) 会計は、本会の会計を行い、年1回会計報告を行う。
 - (5) 会計監査は、会計報告に従って、その監査報告を行う。
 - (6) 常任委員は、常任委員総会および各回生の連絡調整を行う。
 - (7) 顧問は、この会の会務について、会長の諮問に答える。
 - (8) 事務局は、本会を補佐し、事業運営に関する事務一般を行う。
- 第9条 役員の任期は、2カ年とする。但し再任は妨げない。

第6章 総会およびその他の会議

- 第10条 本会には、次の機関を置く。
- (1) 常任委員総会
 - (2) 常任委員会
 - (3) 役員会
- 第11条 常任委員総会は、本会の最高決議機関で本会常任委員および役員をもって構成し、年1回開催する。
- 第12条 会長が、特に必要と認めた時は、臨時に総会および常任委員会を開くことができる。
- 第13条 常任委員総会の決議は、常任委員および役員の過半数をもって決定し、臨時総会の決議は、臨時総会出席者の過半数をもって決定する。
- 第14条 常任委員会は、常任委員および役員をもって構成する。会長が召集し、会の運営に関する事項を審議する。
- 第15条 役員会は、役員をもって会の運営にあたる。

第7章 会計

- 第16条 本会の経費は、会費、事業収益および寄付金をもってこれに当てる。
- 第17条 本会の会員は、終身会費として10,000円を納める。
- 第18条 本学在学中、途中退学になった場合は、申請に基づき全額返納する。
- 第19条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第8章 補則

- 第20条 この会の会則の改正は、役員の承認を得て、常任委員総会の決議を要す。

- 付則 本会則は、平成19年4月1日より施行する。
- 付則 本会則は、平成22年4月1日より施行する。
- 付則 本会則は、平成27年5月16日より施行する。
- 付則 本会則は、平成29年5月20日より施行する。



熊本保健科学大学

URL <http://www.kumamoto-hsu.ac.jp>

会報誌『ひいらぎ』はweb上での公開となります(郵送は行っておりませんので、ご了承の程よろしく願いいたします)

- 保健科学部 医学検査学科
看護学科
リハビリテーション学科
- 大学院保健科学研究科
- 公衆衛生看護学専攻科 (2025.4開設予定)
- 助産別科
- キャリア教育研修センター
 - ・認定看護師教育課程(脳卒中看護分野、認知症看護分野)
 - ・特定行為研修課程

令和6年度常任委員名簿

卒業期	銀杏学園短期大学		
1	井戸上 洋	園田 和春	
2	松高ますみ	畑田 直美	
3	山崎 ルミ	鋤崎ひとみ	
4	中路 格美		
5	西坂 和博	石橋 勝子	
6	福山 隆光	渡辺真知子	
7	北野 由加	下山 真代	
8	迫川 和世		
9	前田 順子		
10	大鶴 聖輔	山口 美香	
11	中津 朋美		
12	高木さをり	中野 博之	渡辺 寛之
13	井上 由美	桂 昭博	
14	立山 園美	井芹 智典	松永 美保
15	平田 輝彦	井島 秀行	
16	亀山 亜弓		
17	光永 美幸		
18	西木 緑		
19	前田 一直	那須 孝子	
20	前田 稔	松島奈穂美	

卒業期	熊本保健科学大学保健科学部看護学科			
1	木村 涼平	勝木 誠	栗山 鮎美	
	井芹 由貴	福富 愛子	八尋 広美	
2	水上 さち	永野 知子	井上 常彦	
	松本 千佳	長谷川 彩	成田 祥子	
3	高橋知恵美	下山 佑紀	中居 一彦	
	大村ゆかり	山野恵利華		
4	中川 晃一	須崎 剛史	阿南 梨花	
	田中 由香			
5	住吉 望	渡辺 由樹	友枝 翠	
	尊田 貴代			
6	植田李華子	荒木奈津美	山内 祥子	
7	井上 丈滉	塚本 紗紀	辻 愛美	
	中嶋 良美			
8	島津 愛己	尾下 礼佳	野上 綾	
9	河野 健	西村 日鶴	船津 優美	
10				
11	大石 裕希	久保田 純	河野 拓哉	
12	濱田 伸也	佐々木 悟		
13	養田 明子	村瀬 春華	民谷 直輝	
	柳本 洸圭			
14	前田 響香	工藤 美穂	宮川 裕貴	
15	松田 花林	平松 幸	宮本 知佳	
	森山友里華			
16	富永 奈央	中島 結衣		
17	福岡 希美	嶋村 優里	中路 萌未	
	角田 実優	藤村 稀衣		
18	瀬川 萌香	立山ひより	辻 士央菜	

令和6年度同窓会役員名簿

会 長	高 橋 知恵美	3期生
副会長	勝 木 誠	1期生
	中 居 一 彦	3期生
書 記	山 口 美 香	10回生
	中 原 恵 美	20回生
会 計	木 村 涼 平	1期生
	井 上 丈 滉	7期生
監 査	下 山 佑 紀	3期生
	井 上 丈 滉	7期生
事務局	松 島 奈穂美	20回生
	石 橋 勝 子	5回生
	福 岡 希 美	17期生
	嶋 村 優 里	17期生
	中 路 萌 未	17期生
	角 田 実 優	17期生
顧 問	藤 村 稀 衣	17期生
	吉 岡 宏 介	7回生
	中 野 博 之	12回生



モクセイ科の常緑樹であるひいらぎの葉には、深い切れ込みがあり、葉の縁には鋭い棘がついているのが特徴です。この葉は成長と共に角が取れ、段々と丸い形の葉に変わっていきます。同窓会誌『ひいらぎ』は、ひいらぎが成長して葉を丸くするように、本学看護科(学科)卒業生が、看護者として、また人間として大きく成長してほしいという願いを込めて、「銀杏学園短期大学看護科同窓会」の設立にご尽力いただいた故上野フジエ先生の推薦により命名されました。



同窓会誌『ひいらぎ』
誕生の由来

お問い合わせ先(看護学科同窓会事務局)

〒861-4214 熊本県熊本市南區城南町舞原無番地
医療法人 城南ヘルスケアグループくまもと南部広域病院
中野博之
TEL 0964-28-2556
Email: nakanoh@ksr-hospital.jp